

ぶん ぶんぽう 文の文法 1 ④

問題 つぎの文の () に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つえらびなさい。

(1) 家族や友だちに駅で見送られたときは、泣きたい () つらかった。

- 1 ことに 2 くらい 3 ように 4 らしく

(2) 「失礼な」「そちら () 失礼な」

- 1 ばかり 2 ほど 3こそ 4 のせいで

(3) まぐろ ()、魚の名前ですか。

- 1 って 2 にとって 3 において 4 とともに

(4) サッカー () したくない。疲れるし、けがしそうだから。

- 1 について 2 なんか 3 として 4 のように

(5) その事故 ()、今調査中です。

- 1 の通りに 2 に際して 3 としたら 4 に関しては

(6) あんなに足が速い子と競争しても、負けるに () から、走りたくない。

- 1 決まっている 2 はず 3 ことがある 4 比べる

(7) あの人は性格が合わない ()、あいさつ程度はしている。

- 1 らしく 2 としたら 3 といっても 4 ことに

(8) 京都 ()、お寺や神社を思い出す。

- 1 というのは 2 というと 3 というより 4 に対して

ぶん ぶんぼう
文の文法 1 ⑤

問題 つぎの文の () に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つえらびなさい。

(1) あなたは彼^{かれ}はいい人だと言っていますが、絶対^{ぜったい}に悪いことをしないと()か。

- 1 だします 2 おわります 3 はじめます 4 きれます

(2) こんな簡単^{かんたん}な仕事 () できないなんて、新入社員よりひどいじゃないか。

- 1 さえ 2 より 3 とおり 4 ほど

(3) この本は留学生^{りゅうがくせい} () に、簡単な日本語で書かれている。

- 1 ため 2 たび 3 向け^{むけ} 4 うえ

(4) 上司^{じょうし}に聞いてからでないと、()。

- 1 明日聞いてみます 2 お答えします
3 お返事^{へんじ}できません 4 お電話してもいいでしょうか

(5) いじめによる自殺^{じさつ}は、() 一方である。

- 1 増えた^ふ 2 増え 3 増える 4 増えない

(6) 大学生の子どもにおこづかいをやる () よ。アルバイトしているんだから。

- 1 かのようだ 2 しかない 3 ことはない 4 はずだ

(7) 服部先生^{はっとり}は、若い^{わか}し、話しやすいので、先生 ()、友だちという感じ^{かん}だ。

- 1 にとって 2 としたら 3 というより 4 なんか

(8) この季節^{きせつ}はかぜを () がちだから、お互^{たが}いに気をつけましょうね。

- 1 ひく 2 ひき 3 ひいて 4 ひいた